



田無公民館つうしん

耐震改修工事ニュース Vol. 3



田無公民館は耐震改修工事のため令和3年4月から休館しています。

工事完了までの1年間、田無公民館を利用していたサークル間の交流をはかるため、定期的に「田無公民館つうしん（耐震改修工事ニュース）」を発行します。

【サークル活動紹介】「カラダ再発見サークル」 取材日 6/9（水）

田無公民館が耐震改修工事で休館中のため、4月から柳沢公民館で活動しています。活動場所が変わっても、講師の甲野陽紀先生は今までどおり通ってくださるので、コロナ禍でもサークル活動を継続することができており、会員の心身の健康が保たれています。

田無公民館では和室を使っていたので、柳沢公民館にも和室があればより良かったです。しかし、西武柳沢駅から近いので会員の皆さんは満足されています。

現在コロナ禍で、公民館の学習室の定員が5割となっているため、出欠の管理に気をもむこともあります。

以前から、体験を希望される方は途切れずにいらっしゃるのですが、市外の方が多く仕方なくお断りすることもあります。安定したサークル運営のためには、西東京市民の会員を増やすことが課題です。

サークル運営は、主に8人で担当しています。代表者、担当者のほかに、会場予約係、会場設営係、会計係と役割を分担するようになってからは、みんなの責任感が高まり、会員同士、互いに思いやる場面も増えたと感じています。会員の高齢化のため、運営の負担軽減が今後の課題となっています。一斉メールで会員同士連絡を取り合っていますが、メールを使っていない方もいらっしゃるため、電話連絡をする方の負担にならないよう工夫しながら活動を続けていきたいと考えています。

講師：甲野陽紀先生のプロフィール

身体技法研究者。武術指導アシスタントの経験に基づき、分野や流儀、流派にとらわれない立場で身体技法の研究を始める。注意の向け方や、言葉の使い方などで変わる身体感覚のエッセンスを、日常に役立つ技法として提案する斬新なアプローチは、スポーツや介護、楽器奏法、教育関連など、さまざまな分野の専門家からも注目されている。



「2人1組で身体のもつ本来の動きやすさを体験」



「参加者の質問も受けて、和気あいあいの講座」



サークルメンバー（甲野先生を囲んで）

田無公民館の様子を お知らせします

【ツバメの定点観測日記】



6/28 交代の親鳥が餌を運んできました。



6/28 餌をもらっているヒナと、餌を待っているヒナ



6/28 飛び交って交代する親鳥のつがい



6/28 ヒナが首を伸ばして餌をもらっています。



6/28 ひな鳥が口を開けて待っています。



6/30 黄色いくちばしのヒナが2羽います。

田無公民館つうしん Vol.3 (耐震改修工事ニュース)

発行：令和3年7月15日

編集：田無公民館 E-mail : tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp

Tel : 042-464-8211 (柳沢公民館内)

